

ホケンダイつきいちゼミ(2025年8月号)



Q 研究テーマを教えてください。



A 日本での就労を希望するベトナム看護大学生が描く将来のキャリア像と必要なサポートについてです。



Q お名前と今の仕事の内容を教えてください。



A 青森県立保健大学 看護学科 基礎看護学領域で講師をしている小林昭子です。1.2年生に「看護とは何か」を考える授業や、看護師に必要な基本的な看護技術を学ぶ演習を行っています。また、3年生の看護教育学の授業では、看護職のキャリアについて考えたり、日本と海外の看護教育を比較したり、学生と一緒に看護教育について探究しています。

ホケンダイつきいちゼミ(2025年8月号)



Q どうしてその研究をしようと思ったのですか。



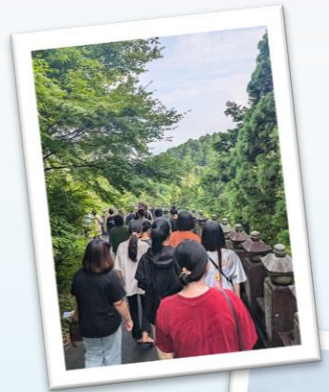
A 日本の介護分野では、ベトナムでの看護資格を有する人も働いています。日本での就労を希望しているベトナム看護大学生がどのようなキャリア像を描いているのかを明らかにしたいと思ったからです。



Q それはどんな研究ですか。



A 日本でのサマーキャンプに訪れたベトナム国ナムディン看護大学の学生に、看護師になろうとした理由や日本に興味を持った理由等を調査し、キャリア像を描いてもらいました。



ホケンダイつきいちゼミ(2025年8月号)



Qどんな成果が得られていますか。



A 学生達は家族や人々の世話をしたいという想いで看護師を目指していました。そして、日本の看護師資格を取得して、日本で学び成長し、優秀な看護師として日本やベトナム、世界中で活躍するキャリア像を描いていました。

将来の看護師像

優秀な看護師になりたい。すべての仕事ができるようになり、ベトナムと日本で学んだことを生かせる仕事をしたい。日本で働きたい。

未来

現在

過去

看護師を目指した想い



学生が描いたキャリア像の1例

ホケンダイつきいちゼミ(2025年8月号)



Qこの結果をどんな人にどのように活用したいですか。



A ベトナムでの看護師資格を有して日本で就労している人々や、来日就労を希望するベトナム看護学生の描くキャリアを実現していくためのサポートに繋がっていきたいと思います。



Q皆さんにメッセージをお願いします。



A サマーキャンプではベトナムと日本の学生が言葉や文化の壁を越えて交流を深め、国と国をつなぐ絆を築いていました。国を超えた出会いにより、多様な視点で学び合うことが出来るのだと感じています。



ホケンダイつきいちゼミ(2025年8月号)



最後に、研究のことをもっと知りたい！大学院のことをもっと知りたい！場合は、どちらにコンタクトすればいいですか？



看護学科 基礎看護学領域 小林昭子

メールアドレス：a_kobayashi@ms.auhw.ac.jp

よろしくお願いします！



小林先生、ありがとうございました。
保健大学では、毎月、その年のテーマに沿って、
情報を発信していきます。